

離床センサー 現場レポート！

VOL.22
Mar.2011

「離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します！」

「延長コード」を使用する事で、より安全・快適に離床センサー運用をされている、新潟県 M 病院様と福岡県 K 苑様の例をご紹介します！

新潟県・M 病院様

ご使用機種：コールマット・徘徊コールIII(HC-3)

課題

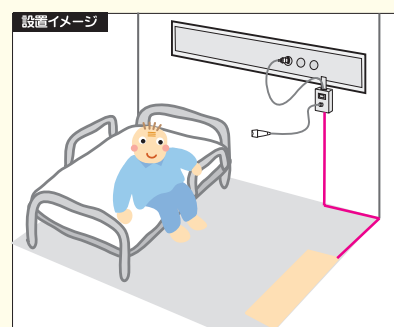
4床の病室の出入り口付近に個室トイレがあり、病室奥の対象者がトイレに入る事を検知する目的でトイレ前にHC-3を設置。対象者のベッドからトイレまで距離があるため、ケーブルが張った状態で足を引っ掛ける危険があった。

対策

「マット側延長コード」を使用することで、センサーから中継ボックスまでのコードの長さを延長し、余裕を持ったコード配線を行った。

効果

対象者が足を引っ掛ける危険や、センサーのケーブルが断線する危険を解消し、安全な療養環境づくりができた。



今後はより安全性、利便性が高いコールマット・コードレスの導入を検討されているそうです。

福岡県・K 苑様

ご使用機種：コールマット・徘徊コールIII(HC-3)

課題

利用者の希望により、ベッド配置を日当たりの良い位置に変えると壁のナースコール端子までケーブルが届かないので、ナースコールやセンサーを使えない。

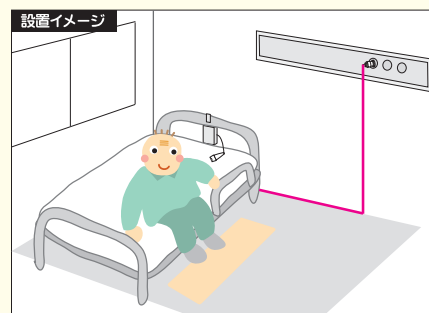
対策

「ナースコール側延長コード」*を使用し、中継ボックスからナースコール端子までのコードの長さを延長し、壁のナースコール端子まで届くようにした。

*ナースコールの形状によっては対応不可なものもあります。

効果

コードの長さを気にする事なく、ナースコールやセンサーを使用でき、利用者の希望に合わせたベッド配置が行えるようになった。



こんな時に延長コード！

センサーを設置する際に、ケーブルが届かなくて困った…そんな時には延長コードを使用する事で、センサーの設置範囲が広がり、より安全・快適に使用ができます。延長コードは「マット延長コード」と「ナースコール側延長コード」の2種類があります。

*ナースコールの形状によっては「ナースコール側」の延長が不可能なものがあります。
*ナースコール自体の延長は承っていません。

